

事務事業名	合志市体育指導委員配置事業				☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連		
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課	
施策名	21	生涯学習の推進			所属係	スポーツ振興班	課長名	野本立一	
基本事業名	79	生涯学習団体やスポーツ団体の組織化の推進			担当者名	濱田祐史	電話番号 (内線)	248-5555 1504	
予算科目	会計 01	款 10	項 06	目 01	事業	法令根拠	スポーツ振興法・合志市体育指導委員に関する規則		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 S36 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の概要) ・スポーツ振興法に基づき配置、合志市におけるスポーツに関する事業に協力し、スポーツについて指導助言を行い理解を深める活動を行うために体育指導委員を配置する。現在27人。 (事業の内容) ・会議の開催、研修・講習会の企画、出前講座の手配、費用弁償等の手配 (予算の内訳) ・旅費(費用弁償)						総投入量	財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	
							人件費計 (B)	0	
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

・月例会議の開催、市主催スポーツ振興事業への協力依頼、出前講座等への派遣依頼

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

・18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・合志市民

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・スポーツに親しんでもらえる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

学習やスポーツに取り組む仲間ができる。

学習やスポーツリーダーになる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称 単位
ア 体育指導委員の出席(派遣)回数 回



⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称 単位
ア 合志市民 人



⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称 単位
ア 年間市主催のスポーツ関係行事に参加した市民の割合 %



⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称 単位
ア 活動している生涯学習・スポーツ団体数 団体
イ 市内在住のインストラクター数/生涯学習施設で各種講座を担当しているインストラクター数 %



(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	年度 (最終目標)
投入量	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円			1,826	1,820	1,820	1,820
	事業費計 (A)	千円	0	0	1,826	1,820	1,820	1,820
	人件費	人			5	5	4	4
	延べ業務時間	時間			150	150	150	150
	人件費計 (B)	千円	0	0	596	596	596	596
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	2,422	2,416	2,416	2,416	2,416
活動指標	ア 回数			30	30	35	35	40
対象指標	ア 人			53303	53909	54518	55124	55732
成果指標	ア %			7.3	7.5	7.6	7.7	8
上位成果指標	ア 団体 %							

合志市

事務事業名	合志市体育指導委員配置事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・スポーツ振興法にうたってあり、住民のスポーツ振興のための企画立案、指導助言を目的に配置された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

・旧町時代の体育指導委員の定数はそれぞれ15名であったが、合併後30名以内になった。
・高齢化社会を迎え、高齢者向けの講座の要請が増えてきた。また、スポーツ振興基本計画や健康増進法などの制定により、健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え益々活動が増えている。
・平成12年にスポーツ振興基本計画が制定され、平成18年に一部改正された。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・高齢者向けの講座の要請
・健康ブームからスポーツを楽しむ人が増え、体育指導委員の手伝いが必要だという意見。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 ・意図のスポーツに親しんでもらえることにより、結果の学習やスポーツに参加する機会があるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 ・市民が健康で、明るいまちづくりを推進していくためには必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 ・時間がない、場所がない、仲間がいない、運動嫌い等が原因で日常的に運動をしていない人が数多くいるので、行事や活動を広報、ポスター、ホームページ、人づてによりもっとPRして増やしていく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 ・スポーツによる健康なまちづくりができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・福祉関係課と連携することにより向上が期待できる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 ・必要最小限の出席にし事業費を削減している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 ・体育指導委員の月例会議などに必要最小限の人員であれば削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ・地域の代表である体育指導委員は全市民を対象にサービスを展開しており、住民は体育指導委員を活用する機会を公平に与えられているから。

合志市

事務事業名	合志市体育指導委員配置事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

スポーツに関する市民参加については、PRにも工夫を凝らしながら進めていく。
体育指導委員の月例会議には事務局は最小人数で対応する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
- ・スポーツに関する市民参加については、方法、PRにも工夫を凝らしながら進めていく。
・体育指導委員の月例会議には事務局は最小人数で対応する。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

- ・体育指導委員と事務局の意識の改革
・福祉部門との連携

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項